

シラバス

科目名：生涯学習支援論	担当教員名： 渡邊洋子・田中一裕・佐伯知子・真柄正幸
-------------	-------------------------------

- 単位数：2 単位
- ねらい、到達目標

地域社会における一人ひとりの学習者の多様な特性や学習ニーズ、学習課題を踏まえ、様々な学習の形態・方法を活用した学びの場や学習機会を企画立案・運営できるようになることを目指す。

【到達目標】 1. 学習者理解に関わる基本的な理解と実践上の留意点を、言葉で他者に伝えられる。2. 多様な学習方法・学習支援方法の理解をもとに、実際に対面的な場面で選んだ方法を試してみることができる。3. 実際に試してみた結果を口頭・文章で振り返り、達成できたことと課題・改善策を言葉で示すことができる。

● 科目概要

学習支援の基本的な考え方、学習者理解と学習者支援、成人学習／教育の理論、学習支援者の役割、学習者（成人、高齢者、子ども・若者）理解、参加型学習を含む多様な学習方法・ファシリテーションなど学習支援方法、ICT を活用した学習・学習支援、学習情報提供と学習カウンセリング、学習カウンセリングの実際、学習プログラムの企画立案等を取り扱い、講義と演習の両形式を用いながら理解と習得をはかる。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第1回	講義・演習	オリエンテーション
第2回	講義・演習	生涯学習支援論の基本1（学習支援の基本的な考え方）
第3回	講義・演習	生涯学習支援論の基本2（学習者理解と学習者支援）
第4回	講義・演習	生涯学習支援論の基本3（成人学習／教育の理論）
第5回	講義・演習	学習者の個人支援1（学習情報提供と学習カウンセリング）
第6回	講義・演習	学習支援の方法1（ICT を活用した学習・学習支援1）
第7回	講義・演習	学習支援の方法2（ICT を活用した学習・学習支援2）
第8回	講義・演習	学習者理解の構図1（子ども・若者の学習課題と生涯学習）
第9回	講義・演習	学習者の個人支援2（学習カウンセリングの実際）
第10回	講義・演習	学習支援の方法3（多様な学習方法の実際）
第11回	講義・演習	学習支援の方法4（ファシリテーションと多様な学習支援）
第12回	講義・演習	学習支援者の役割
第13回	講義・演習	学習者理解の構図2（成人学習者の特徴と学習ニーズ）
第14回	講義・演習	学習者理解の構図3（高齢化と学習支援）
第15回	講義・演習	学習プログラムの企画立案1（視点）
第16回	講義・演習	学習プログラムの企画立案2（実際）

● 評価について

- ・ 授業参加度 20%（講義の合間に行うディスカッションやグループワークへの参加）
- ・ 小レポート 40%（各授業で実施するコメントシートへの記入）
- ・ 総括レポート 40%（全授業回終了後に提出するレポートの作成）

以上の結果を総合的に踏まえて判定する

シラバス

科目名：社会教育演習	担当教員名：渡邊洋子・真柄正幸
------------	-----------------

- 単位数：2 単位
- ねらい、到達目標

生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論の受講成果を活かし、学習者の多様な特性や学習ニーズに対応した学習の場や学習機会のデザインできるようになることを目指す。

【到達目標】 1. 学習者の特性や学習ニーズについて考慮すべき事項を言葉にできる。2. 柔軟で多様な学習支援方法や多様な主体と連携・協働を取り入れた学習プログラムに向けて、話し合いに積極的に参加できる。3. 学習者の地域社会への参画に向けた意欲を喚起し、学習成果を地域課題解決や地域づくり、地域学校協働につなげる工夫や振り返りの議論ができる。

- 科目概要

事前にグループで決めた学習テーマに基づいて、民間企業やNPO等からオンラインでのヒヤリング（フィールド調査）を行い、生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論で学んだ生涯学習・社会教育の考え方や方法論を活用しながら、グループごとに学習プログラムを作成する。同プログラムはリデザインを経て、全体に向けたプレゼンテーションで共有し、振り返りを行う。以上を通して、社会教育主事・社会教育士の職務遂行に必要な資質・能力の総合的・実践的な定着をはかる。授業実施に際しては、対面演習とオンライン演習を組み合わせて、学習実践の現場感覚をより体感できるようなものとする。

- 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第1回	演習	社会教育演習のイントロダクション（方針とスケジュール）
第2回	演習	社会教育・生涯学習フィールド調査1 （民間企業やNPO等からのヒヤリング）
第3回	演習	社会教育・生涯学習フィールド調査2 （民間企業やNPO等からのヒヤリング）
第4回	演習	学習プログラム作成① 課題の把握・方針の決定
第5回	演習	学習プログラム作成② 連携事業計画1
第6回	演習	学習プログラム作成③ 連携事業計画2／学習展開計画1
第7回	演習	学習プログラム作成④ 学習展開計画2
第8回	演習	学習プログラムのリデザイン・プレゼン準備
第9回	演習	プレゼンテーション・振り返り・まとめ

- 評価について

- ・ 授業参加度 30% （講義の合間に行うディスカッションやグループワークへの参加）
 - ・ 小レポート 30% （各授業で実施するコメントシートの記入）
 - ・ 総括レポート 40% （演習終了後に、個人個人が学習プログラムを作成して提出）
- 以上の結果を総合的に踏まえて判定する